

深耶馬溪の水生動物

山移川の鳴良橋上・下流、一目八景上流、軍艦岩上流、錦雲峽、麗谷など五地点で「水生動物」の生息状況を調べました。山移川をふくむ山国川は、県内でも、魚類の主なえさになる水生昆虫などの底生動物が多く、生息しています。類の種数も最も多い河川の一つになっています。



深耶馬溪に特徴的な錦雲峽の溪谷



ムカシトンボの幼虫(錦雲峽産)



優れた森林内に流れる渓流に生息しています。きれいな水の指標種です。

底生動物

水生昆虫(幼虫)の姿

トビケラ



カゲロウ



トンボ



カワゲラの仲間



錦雲峽で採集した水生動物の一部

一目八景



源流域の錦雲峽や麗谷のように、一枚岩のような川底の瀬には、付着藻類を食するカゲロウの類がビッシリ張り付いているのが目立ちます。鳴良橋付近では、転石礫の多い白波の立っている瀬がみられるようになり、石礫の間に網を張って懸濁有機物を集めて食するトビケラの仲間や、小型水生昆虫を捕食するヘビトンボなどがみられます。

下のグラフは、1983年と1994年の夏にこの地域で採集した水生昆虫などの合計種数です。優れた森林内に流れる水のきれいな川ほど水生動物の種数が多いとされています。1983年から1994年にかけて、かなり種数が減っているのは、その間に、この地域を直撃した二度にわたる大型台風の影響など川の環境の悪化がうかがわれます。

●山移川で採集した水生動物の種類



魚 類



軍艦岩



錦
雲
峡



カマツカ



オイカワ ♀



シマジョウ



オヤニラミ

鶴良橋上・下流では瀬と淵が交互にくりかえされる一般の川の上流域の形態がみられます。今回生息を確認した10種の魚類の中で、アマゴ以外の種類のほとんどが生息しています。

オヤニラミは鶴良橋付近から一目八景下流付近までみられましたが、県内では山国川、日田の三隈川水系とに生息しており、国内の分布南限となっているなど貴重です。

オイカワは中・下流域の魚ですが、鶴良あたりを上限としているようです。



タカハヤ



カワムツ ♀



ムギツク(上)

一目八景の一つ家バス停下の浅い緩やかな瀬に投げ網したところ、ムギツク、タカハヤ、カワムツの3種が同時にかかりました。いずれも、夏季の水温が18～25℃で、やや冷たい水域に生息する種類です。



アマゴ



カワヨシノボリ ♀



ドンコ

バス停軍艦岩上流には「渓流の女王」と呼ばれるアマゴが生息しています。地域ではエノハと呼んでいるようです。この魚は、水生昆虫が多く、夏季の水温が20℃を越えない程度の清流にすむ美しく美味しい魚です。

このほか、山国川の全域に分布するウグイや、この頃少なくなったアカザ、ハゲギギの分布も分かっています。